

朝鮮飢饉及水害状態

朝鮮には昨年より大飢饉があつた。即ち昨年の春より秋まで続いた大旱魃と、其の直後にあつた大水害

とは、農作物を到る處に於て、殆んど全滅せしめ、其の甚烈無残兇兇は飢饉の際の手に委ねられたのである。十月を各新聞に發表された統計によつても、朝鮮の人口に非はれた兄弟が既に三百萬人。今年の春にして

既に増へ五百萬人(朝鮮總人口は千七百萬人)近くは達したのである。朝鮮は三道に分れてゐるが、其の申に悔愆なのは黃海道、全羅北道、及慶尙北道である。此の三道の中

國の程度に於て、中間にある全羅北道の状況を一言簡をなすべく小く引せやうと努めたが遺憾ながら飢饉

の程度最も低くかつた昨年十月に發表したるものによつて一擧げて見やう。

全道の飢饉にかつたもの總数が七十萬人を達人口の七割弱、其の中殺物は少しも残らないで、ソ草

と云ふのみを食へて生活するものが二萬三千六十二戸、樹の皮、藁の根、其の根及菜根三十種類の雑物を食へ

て生き延ぶるものが十七萬戸、飢饉に陥つたものが西千九百人、溺死者が千二百三十八人、食が五千三百五十人。

鉄茶の甚しかつた地方に於ては、民衆は食物に困つてゐるばかりでなく、家までも流して仕舞つたので、飢

を稍過又は對外に誓つたのである。飢えて且つ凍つた彼等は、大振擲睡を起して斃れたのである。

生き残つた兄弟達の一體の望みとしては、唯今年の麥の收穫があつたのみ。然るに何んか云ふまき不幸か。麥

の收穫が何れに於て、七月の大洪水が朝鮮を襲ふたのである。其の水害は急變を通知しての六十年來未曾有

の大洪水で、平南北道及咸鏡北道の三道のみが幸じて其れから免れたのである。被害の最も甚しかつた京畿道

咸鏡南道の如きは、漢江及洛東江の増水四十餘尺に達し、其の沿岸は海と化し、農作物は殆んど全滅し、潮流中

に見えられ、溺死者五百人に近く、行衛不明者も何數百人である。流失、倒壊、浸水、農屋殆んど十萬戸に達し、今

二十餘の兄弟が得道に彷徨してゐる。其の上で又赤痢等の傳染病も流行し出した。

近日(八月十五日)の報道によれば八月十日より又暴雨が各地で降りつゝあつて、平安南道の大同江の如

くは別々増水して、橋形形容すべからず、咸鏡北道に於ても浸水家屋五千以上に達したと云ふ。

昨年より大飢饉のつた所に、又今年の大水害が加はつたのであるから、朝鮮兄弟の悲愴は既に極に達した

のである。之を救ふ爲めに朝鮮各地に於て、種々の民間救濟團體が組織され、然し經濟的總ての力を擧は

した朝鮮民衆であるから、其の救濟事業は果たぬことを得ない。しかのみならず民間救濟團體は、それが無慮

無慮である所から、警察當局から解散せられつゝある間に三十餘地方解散は終生された。

(救濟團體に解散を命ずると云ふこと)が、或は不慮に思はれるかも知れない。しかしそれが不慮と思はれ

ると云ふことは、被災地兄弟のことも少しも理解しない爲めだ。被災地には其の以上のことが残らでもあ

る。飢饉及水害にかつてゐる朝鮮兄弟は、今外國の兄弟の助けを待つ外は何の路もない。それに対してミスマク

する國際民衆委員會が一番先きに動いてくれた。其の會は歐西に於て救濟金を募するのみならず、各國に

を日本、日、中、朝各經濟團體が朝鮮飢饉及水害救濟委員會を組織したのは八月九日であるが、之れから

幾々は賑を運じて朝鮮兄弟を救ひたいのである。

大正十四年八月十六日

芝風南佐久間町一丁目二番地

朝鮮飢饉及水害救濟委員會